第１回　滋賀県女性の参画による防災力向上検討懇話会　概要

日時：平成31年４月26日（金）　10～12時

場所：危機管理センター　２Ｆ　災害対策室５・６

１　【現状・課題】に対する情報提供

〇消防団では、女性は炊き出しではなく啓発活動に力を入れている。

〇滋賀県女性防災士の登録者数は少ない（120名中20名）が、熱心な方が多く、男性では気づかない点を取り上げてくれる。

２　意見

〇施策の方向性を検討するにあたり、新興住宅街や、少子高齢化が進んだために共助にあまり期待できない地域も想定して議論しないといけない。あるべき論だけではダメ。

〇女性にも様々な立場の方（高齢者、障害者、外国人等）がいることに加えて、ＬＧＢＴＱへの対応もまだまだ進んでいないことから、そのことも念頭において議論すべき。

〇自助においては、防災知識だけあっても仕方ない。防災・減災対策の実行が必要。ひとり暮らしや高齢者については、共助が自助につながる。女性が災害時に求める物資については備蓄品ではなく、協定締結企業等から流通在庫を供給してもらう方が現実的。

〇当懇話会は、県として検討する場であるため、懇話会としてまとめた問題意識を市町にも理解してもらう、またはモデルケースを作って実際に道筋をつけることになろう。

〇乳幼児を抱える母親にとって、防災訓練に参加するのにハードルがすごく高く感じられるので、普段からの地域社会やネットワークでの繋がりで防災に取り組むことがあってもいいのではないか。

〇防災活動を日常に取り入れるとあるが、普段行っている活動が、実は防災活動に繋がるということもあるのではないか。

〇現場だけでなく、意思決定過程にも女性の参画を進める視点は今後の方向性にぜひ入れてほしい。また、地域コミュニティというキーワードもぜひ入れてほしい。

３　まとめ

〇期間にこだわらず、来年度にすぐ事業化できるものや、中長期的に事業化していくものも提言をいただき、検討していく。

〇第２回で、今後の議論の方向性を決める。

〇来年度に事業化できそうなものは第３回で抽出する。

〇資料を読み返して新たに抱いた質問・意見および課題解決につながる具体的なアイデアを次回開催までに事前提出してもらう。

以上